



LIBRARY

いわき総合高校図書委員会 平成29年10月号



今月のオススメ📖



≪君は月夜に光り輝く≫ 著者：佐野 徹夜 **第23回 電撃小説大賞<大賞>受賞作!**

僕のクラスに「発光病」で入院したままの渡良瀬まみず（わたらせ まみず）という少女がいた。発光病とは、月の光を浴びると体が淡く光ることからそう呼ばれている病気である。死期が近づくとその光は、さらに強くなる。僕は余命わずかとなった彼女が死ぬまでにしたいことがあると聞き、「僕に手伝わせてくれないかな？」と声をかける。彼女に出会ったことにより、僕の止まっていた時間が再び動きはじめる。

この本はただのラブストーリーではなく、2人で彼女の難病と向き合い、助け合う物語で、とても感動します。とくに、こういう人に読んで欲しい、こんな人にオススメというのではなく、気が向いたら本を手に取り、読んでください。きっと、今までに読んだことのない感動のラブストーリーです。

(ME)



話題の本😊

≪女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと≫ 著者：西原 理恵子

本書は、毎日新聞に週1で連載されていた『毎日かあさん』の作者が、これから社会へ出ていく女の子へ向けて書いた本です。今年6月に発売されて以来、現在7刷16万部のベストセラーになっています。“女の子”だけでなく、すべての女子に対するメッセージであり、高校生の反抗期真っただ中の娘に対するメッセージでもあるようです。自身の壮絶な半生を淡々と語っていますが、経験に裏打ちされた言葉は重く、胸に響きます。

現在、プロの漫画家として大活躍の西原さんですが、上京する前は「イラストレーターもいいなあ」と、夢見ていたそうです。しかし、上京して予備校や美大で自分の実力を思い知り、“根拠のない自信”が吹き飛んだそうです。そして、最下位の自分にできることは、何なのか？ と……。とにかく「自分は何でもいいから好きな絵を描いて食べていきたい!」、その思いが今の作風につながったようです。

高校生みなさんも、いつまでも高校生ではられません。近い将来、みなさんも自立しなければなりません。この本には、自立のためのヒントが書かれています。女子に限らず、男子にもぜひ、読んで欲しい一冊です。アメリカの高校生は親が干渉しない代わりに、自分の身の回りのこと（洗濯や掃除、お昼のお弁当など）は自分でやるそうです。高校生になっても、親が甲斐甲斐しく子供の身の回りの世話をするのは日本人くらいだそうですよ。最近、口をきいてないその君、たまには素直に「ありがとう」「ごめんなさい」を言ってみませんか。



先生のオススメ

工藤 さやか 先生

《 かぎりなく やさしい花々 》 著者：星野 富弘

星野富弘さんが、重い障害を受けてからの病院での生活や、富弘さんを取り巻くたくさんの人々とかかわる中で、悩んだり、苦しんだり、様々なことに気がついたりしたことについて描かれている手記です。

身体が動かないことへの苦悩や、口で詩画を描くようになったエピソード、家族とのやりとりや、結婚するまでのエピソードが描かれています。

☆生徒へひと言☆

20代の初めに大けががもとで首から下が動かなくなる、重い障害とともに生きていくことになった富弘さんが、口で筆をくわえ詩や絵を描くことで、自分自身の素直な心と向き合い、生きることと向き合っていく姿が感じられる作品です。

日常の何気ないことでつまずいたり、後悔したり、悩んだりすることは誰にでもあることですが、そんな時に、励まされ、自分と向き合う勇気もらえる一冊だと思います。

もし、文字を読むのが苦手な人は、星野富弘さんの詩画集もおすすめですよ。



◆図書だより編集部より◆

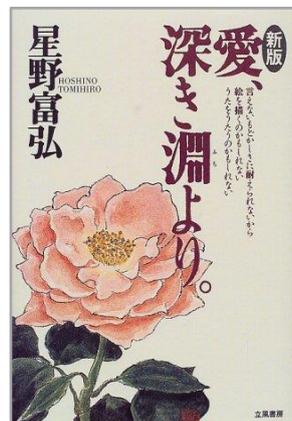
星野さんの作品には、ほかにオススメしたい本がたくさんあります。とくにオススメしたいのは、初期の2作品です。初めての詩画集『風の旅』と、9年4か月におよぶ入院生活を綴った『愛、深き淵より。』です。どちらも2000年代になり「新編」「新版」が出版されています。

『風の旅』に収録されている詩画のオススメ3編も紹介します。どれも素晴らしいのですが、個人的には「結婚ゆび輪はいらないといった～」で始まる「がくあじさい」「はなしょうぶ」「ぺんぺんぐさ」がオススメです。工藤先生オススメの『かぎりなく やさしい花々』と合わせて、ぜひ手に取って見て読んで下さい。

「ぺんぺんぐさ」

神様が たった一度だけ
この腕を動かして下さるとしたら
母の肩をたたかせてもらおう

風に揺れるぺんぺん草の
実を見ていたら
そんな日が本当に
来るような 気がした



(『新編 風の旅』より)

読書週間

10月27日(金)～11月9日(木)

学校図書館にも、新着図書がたくさん入りました。
秋の夜長、ちょっとの時間スマホやTVのスイッチを切って、本に親しんでみませんか？

本に恋する季節です♪

